

2019年度第1回千葉大学アカデミック・リンク/ALPSセミナー

深い学びを支える アカデミック・ライティングと思考力 —自律した学習者の育成に向けて—

中央教育審議会による答申『2040年に向けた高等教育のグランドデザイン』では、「普遍的な知識・理解と汎用的技能」を身に付け、時代の変化に合わせ、「論理的思考力」をもって社会を改善していく資質を有する人材が「予測不可能な時代を生きる人材像」として提示されております。このような人材像が提示される中で、大学教育におけるライティングが益々、重要になってきていることは言うまでもありません。

今回のセミナーでは、桜美林大学の井下千以子先生をお招きし、豊富なライティング教育のご経験や心理学の知見に基づき、学士課程4年間のライティング教育を通して、いかに学生の思考を鍛えていくのか、深い学びを支える授業やカリキュラムのあり方についてご講演いただきます。



桜美林大学 教授
井下 千以子氏

日時 2019年7月9日(火)
14:30~16:00

場所 千葉大学アカデミック・リンク・センター1棟
1階 コンテンツスタジオ「ひかり」

申込み方法 下記の1または2の方法で、
7月8日(月)までにお申込みください

1. 次のURLの「申込方法」から申込フォームを入力し、送信してください
https://alc.chiba-u.jp/seminar/seminar2019_01.html

2. 右のQRコードから申込フォームを入力し、送信してください



◆◆◆◆アクセス方法◆◆◆◆

構内の地図は、下記のURLをご覧ください。
駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください。

http://www.chiba-u.ac.jp/campus_map/nishichiba/index.html

◆◆◆◆主催・問い合わせ先◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

千葉大学アカデミック・リンク・センター
(教育関係共同利用拠点「教育・学修支援専門職を養成する実践的SDプログラムの開発・運営拠点」)
千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学西千葉キャンパス内
TEL: 043-290-2891 FAX: 043-290-2255 MAIL: alc-info@chiba-u.jp
URL: <https://alc.chiba-u.jp/>



2019 年度第 1 回千葉大学アカデミック・リンク・セミナー /ALPS セミナー

深い学びを支える アカデミック・ライティングと思考力 ー自律した学習者の育成に向けてー

【日時】 2019 年 7 月 9 日 (火) 14:30 ~ 16:00

【場所】 千葉大学アカデミック・リンク・センター 1 棟 1 階コンテンツスタジオ「ひかり」

【講師】 井下 千以子氏 (桜美林大学・教授)

【概要】 2018 年 11 月に発表された中央教育審議会による答申『2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン』では、高等教育が目指すべき姿として「学修者本位の教育への転換」が求められています。そして、「普遍的な知識・理解と汎用的技能」を身に付け、時代の変化に合わせ、「論理的思考力」をもって社会を改善していく資質を有する人材が「予測不可能な時代を生きる人材像」として提示されております。

このような人材像が提示される中で、大学教育におけるライティングが、「普遍的な知識・理解と汎用的技能」や「論理的思考力」を育成する上で、益々、重要になってきていることは言うまでもありません。

今回のセミナーでは、『思考を鍛えるレポート論文作成法(第3版)』(慶應義塾大学出版会、2019 年)、『思考を鍛える学び入門-論理的な考え方・書き方からキャリアデザインまで』(慶應義塾大学出版会、2017 年)、『大学における書く力考える力-認知心理学の知見をもとに』(東信堂、2008 年) など、豊富なライティング教育のご経験や心理学の知見に基づく著書を多数刊行されている、桜美林大学の井下千以子先生をお招きします。

初年次におけるレポートの書き方のスキル指導に留まるのではなく、学士課程 4 年間のライティング教育を通して、いかに学生の思考を鍛えていくのか、深い学びを支える授業やカリキュラムのあり方についてご講演いただきます。

【申込方法】 下記の 1 または 2 の方法で、7 月 8 日 (月) までにお申込みください。

1. 次の URL の「申込方法」から申込フォームを入力し、送信してください。
https://alc.chiba-u.jp/seminar/seminar2019_01.html
2. QRコードから申込フォームを入力し、送信してください。



【主催】 千葉大学アカデミック・リンク・センター
(教育関係共同利用拠点「教育・学修支援専門職を養成する実践的 SD プログラムの開発・運営拠点」)